

新たな時代への船出です！



未来への学園構想における改革のスタートです！



昭和61年 高総体総合開会式マスゲーム参加

昭和60年度の向陽高校



野岳グラウンド平成最後の「桜と菜の花」です
(H31.3.31撮影)



野岳運動場での第1回体育祭



長野 良助 第6代校長

- ・4月1日：長野良助 第6代校長就任
- ・体育祭を「野岳運動場」で開催
- ・1年阿蘇宿泊研修
- ・インターアクト大会開催
- ・生徒会誌「紫苑」創刊号発行(昭和59年度・S60年2月)

紫苑

第1号

向陽学園
レイクサイドグラウンド

癒やしの自然をイメージした「遊々の森」を含む、グラウンドです。



この「紫苑」が、5年後、10年後、そして20年後に懐かしく思い出され向陽高校を語る糧となれば幸いであり、この後、後輩がそれぞれの創意に基づき、更に良いものとしてくれる事を祈りたい。後輩よ頑張れ。(編集後記より抜粋)

「36号へそして、百周年へ繋ぎましょう！」



インターアクト大会



S60.5 専攻科同窓会発会式



昭和62年頃の校舎全景

第6校舎、カロヨンの塔

昭和62年度の向陽高校

- ・昭和62年4月 第6校舎新築落成式
- ・コンピュータビジネスコース設置

「カロヨン」の鐘の響きが生徒に「希望と青春」を与えることを願いたい。 理事長 烏山英也氏 手記より
英也理事長が直接オランダで注文されたんだ。
今も、大小18個の鐘が学園に響いています。



5年間の構想を経て実現

伝統に新たな光、潤いのある「生活の場」めざす

- ・女子高らしい優雅さ(色と形)のなかに
やすらぎ(陽の光や水、鐘の音)の場を。
- ・伝統(作法室)と最新機器(視聴覚室)の設備。

「向陽学園は、教育の原点を見つめながら新しい時代に対応するため、5年前、建築計画に着手し、ようやく向陽高等学校の新しい校舎が完成しました。これからもご支援を賜りますようお願い申し上げます。」 向陽学園理事長 烏山英也(昭和62年3月長崎新聞より)



第20回戴帽式

昭和63年度の向陽高校

- ・「コンピュータビジネス科」設置
- ・オーストラリアより留学生来日(2名)
(サマービルハウス高校と交換留学開始)



コンピュータビジネス科授業



百人一首大会

「情報社会に対応する」

「OA化に即応できる基礎的知識、実践的学習に力を入れ、真に企業で求められるテクニカルなオフィスレディーの育成」を目標とする。 理事長 烏山英也氏 手記より



針供養

私学は、その時代が必要とする人材を先んじて育成することにより、独自性を発揮する。

本校は、一貫して女子教育の立場からその時代に対応した職業教育を行って来た。

「奉仕」の建学精神の基、校章の「たちばな」のように強く、つつましく生きる女性を理想として、職業教育を通じ、勤労精神と責任、隣人や社会によるこびをもって迎えられる善良な人格を涵養する教育を特色とする。

(昭和62年日本私立中学高等学校連合会発行「私立学校の特色」の向陽高等学校紹介より)

創立百周年へ「結」～つなぎ、飛ぶ～

各科特色ある行事が続きますネ。6月は3年生は最後の高総体、最高のパフォーマンスを発揮して欲しいものです。今の学園生活が未来の自分に確かに「つながります」。皆で頑張りましょう。



英也理事長は、日本の経済発展や文化の向上など社会情勢を見極めて、新学科設置や校舎新築等施設整備に着手されたんだ。

